

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	応用物理演習 I	
科目基礎情報							
科目番号	3E011			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子メディア工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	セミナーテキスト力学、御子柴、二見、鈴木			9784781905334			
担当教員	大嶋 一人						
到達目標							
☐ 簡単な微積・ベクトルの計算ができる。 ☐ 物体の運動を理解できる。 ☐ 簡単な振動問題が解ける。 ☐ 角運動量の保存則をりかいできる。 ☐ 剛体の運動方程式を記述できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	運動方程式をよく理解でき、十分説明できる。			運動方程式を理解でき、説明できる。		運動方程式を理解できず、説明できない。	
評価項目2	1次元、2次元、3次元の運動をよく理解、十分説明できる。			1次元、2次元、3次元の運動を理解し、説明できる。		1次元、2次元、3次元の運動を理解できず、説明できない。	
評価項目3	質点系、剛体の運動をよく理解し、十分記述できる。			質点系、剛体の運動を理解し、記述できる。		質点系、剛体の運動を理解できず、記述できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	通常の授業の後、教科書にある問題等を、輪番で解いて行く。						
授業の進め方・方法	(a)微積分学を用いた力学を理解する。 (b)速度や加速度が、位置や速度の時間微分であることを理解する。 (c)以上により数理的に運動を記述する方法を身につける。 (d)質点の運動方程式を記述できる。 (e)力と加速度をきちんと定式化する。 (f)質点系、剛体の運動を理解する。						
注意点	必ず授業時間中に自分が解けなかった問題を復習し、解きなおしてみること。 また、予習として問題は担当者だけではなく全員が解いておくこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	運動の法則 1		位置、速度、加速度と微積分・運動の3法則・運動量と力積・運動量と保存則について理解する。		
		2週	運動の法則 2		運動エネルギー、保存力とポテンシャル、エネルギー法則について理解する。		
		3週	質点の運動 1		1次元の運動について理解する。		
		4週	質点の運動 2		1次元の運動について理解する。		
		5週	質点の運動 3		1次元の運動について理解する。		
		6週	質点の運動 4		平面内の運動について理解する。		
		7週	質点の運動5		平面内の運動について理解する。		
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	質点の運動 6		空間内の運動について理解する。		
		10週	非慣性系における運動 1		慣性系、重心系と実験室系、運動座標系について理解する。		
		11週	非慣性系における運動 2		慣性系、重心系と実験室系、運動座標系について理解する。		
		12週	質点系の運動 1		質点系の運動量・角運動量・運動エネルギーについて理解する。		
		13週	質点系の運動 2 ,剛体の運動1		質点系の運動量・角運動量・運動エネルギーについて理解する。剛体の運動方程式、つりあいと重心について理解する。		
		14週	剛体の運動 2		慣性モーメントとその計算について理解する。剛体の運動エネルギー、運動量と角運動量について理解する。		
		15週	後期定期試験				
		16週	答案返却		試験に関する説明が理解できる。		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト課題	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	10	70
専門的能力	20	0	0	0	0	10	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0